

謝 辞



本日は、日本臨床培養上清研究会
第2回 1Day ベーシックセミナー 2026 にご参加いただき、
誠にありがとうございます。

本セミナーの開催にあたり、ご登壇いただいた講師の先生方をはじめ、
ご支援・ご協力を賜りましたすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

本セミナーの趣旨をご理解いただき、
培養上清の学びの場を共に創出できましたこと、
私たち事務局一同、大変光栄に存じます。
今後も皆様と共に、
安心・安全な培養上清の正しい理解と発展に努めてまいります。
引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。



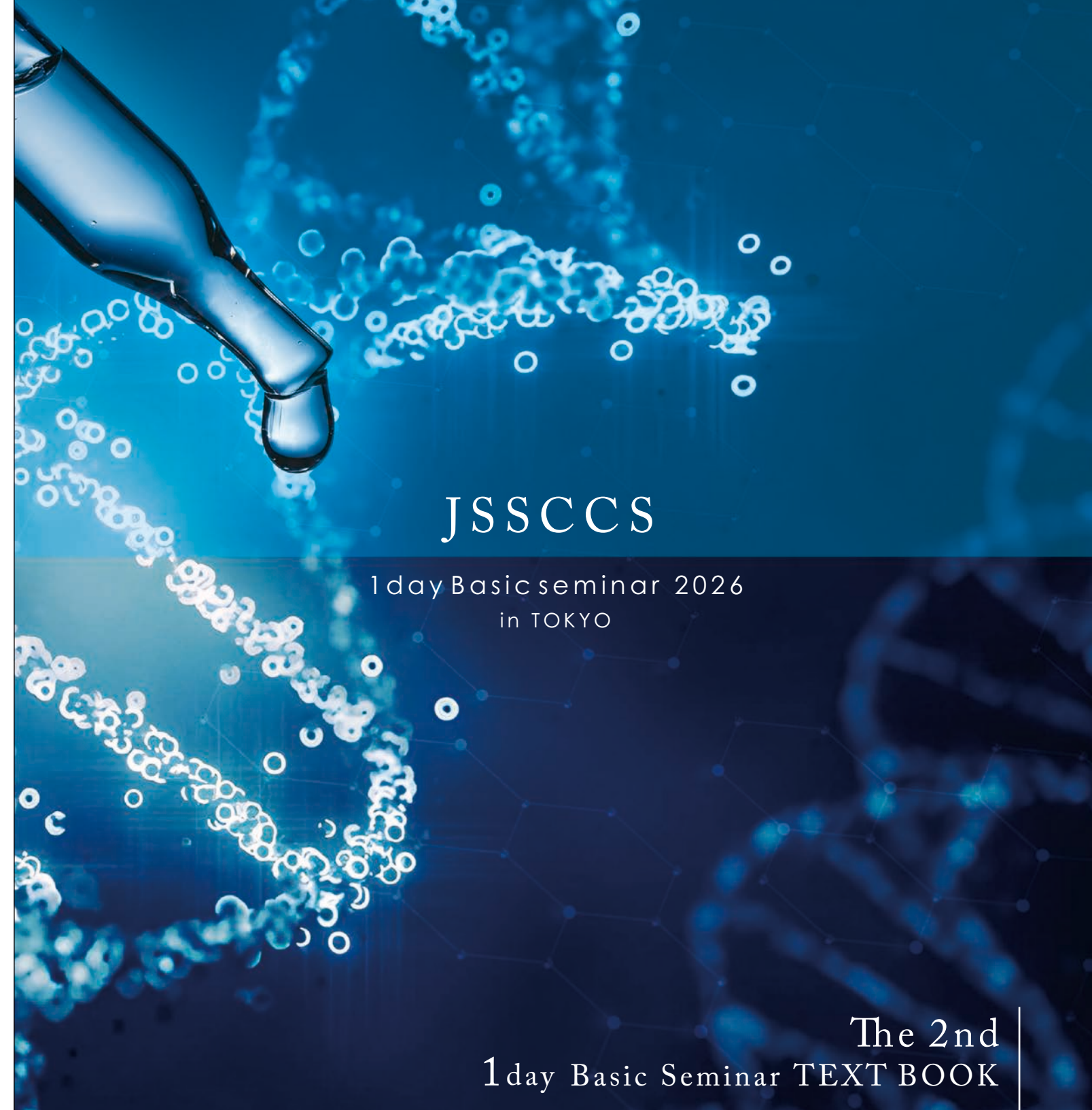
一般社団法人 日本臨床培養上清研究会

Japanese Society of Stem Cell Culture Supernatant for Clinical Medicine



<https://jssccs.org/>

統括事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷 2-31-2-2F
TEL: 03-6240-0179 FAX: 050-3730-8505
(お問い合わせ：平日 10:00～17:00)
●本誌記載のデータは、2026 年 6 月 30 日提出時点の物です。



テーマ

培養上清、臨床の最前線 ～第一線の臨床医・アカデミアの知見と実践ノウハウ～

日時

2026/7/12 (日)

会場

全水道会館 中会議室

〒113-0033 東京都文京区本郷1-4-1 TEL : 03-3816-4196

※ JR水道橋駅 東口 徒歩2分、都営地下鉄 三田線 水道橋駅 A1出口 徒歩1分



JSSCCS
日本臨床培養上清研究会

一般社団法人 日本臨床培養上清研究会
Japanese Society of Stem Cell Culture Supernatant for Clinical Medicine



一般社団法人 日本臨床培養上清研究会 理事長

野村 紘史 Hiroshi Nomura

このたびは、第2回 日本臨床培養上清研究会 1day セミナーにご参加いただき、誠にありがとうございます。

幹細胞培養上清は、再生医療分野における新たな治療モダリティとして注目を集めており、美容医療のみならず、慢性炎症、疼痛、加齢関連疾患、スポーツ医療など、さまざまな領域で臨床応用が進んでいます。一方で、その品質や安全性、製造方法、適応疾患に関する標準化は未だ発展途上にあり、適切な情報共有とエビデンスの蓄積が求められています。

日本臨床培養上清研究会（JSSCCS）は、「臨床における培養上清の品質・信頼性・効率性の向上」を目的として設立されました。また、幹細胞培養上清安全性審査委員会を設置し、原料細胞、製造工程、品質試験および安全性試験などを第三者の立場から評価することで、安心して培養上清を活用できる環境づくりに取り組んでいます。

昨年開催した第1回セミナーでは、培養上清の基礎知識や品質管理、安全性評価を中心に学ぶ機会を提供いたしました。そして第2回となる本年は、「臨床現場における実践知の共有」をテーマとしております。

本セミナーでは、アカデミアの立場から培養上清研究の現状と課題についてご講演いただくほか、歯髄幹細胞培養上清、整形外科領域への応用、ED 治療への活用、Klotho 関連培養上清の研究開発など、実際に培養上清を診療に取り入れている臨床医の先生方から、症例や経験を交えた実践的な知見をご紹介します。

さらに今回は、イタリアより再生医療分野の第一人者である Massimiliano Brambilla 先生をお迎えし、生殖器領域における先進的再生戦略および生殖器線維症に対する再生治療についてご講演いただきます。国内ではまだ十分に共有されていない新たな治療領域について、国際的な視点から学ぶ貴重な機会となることでしょう。

培養上清医療は今なお進化を続ける分野です。本セミナーが、参加者の皆様にとって新たな知見や臨床のヒントを得る場となり、ひいては本分野の健全な発展につながることを心より願っております。

日本臨床培養上清研究会
理事長 野村 紘史

当研究会の理念と目的

日本臨床培養上清研究会は、臨床での培養上清の品質、信頼性、効率性の向上を目的とする研究会です。当研究会では、培養上清を製造する施設や企業の申請に基づき、臨床的な視点から培養上清の安全性を審査し、患者様や医療機関が安全性の高い培養上清製品で治療がおこなえるように、その内容を医療機関や社会に向けて公開いたします。

また、培養上清は医学においても先端的な分野であるため、正しい情報を社会に発信していくとともに、医師や研究者、培養上清に関わる企業等の情報交換の促進を支援し、培養上清をもちいた医療の質の向上に貢献してまいります。

臨床培養上清安全性審査委員会の発足

2022 年 10 月 14 日（金）に幹細胞培養上清の臨床における安全性の審査をおこなう

「臨床培養上清安全性審査委員会」（委員長：田中 善）を発足しました。

国内の自費診療クリニックなどで普及している幹細胞培養上清の安全性を臨床の視点から審査する、国内で初めての審査機関となります。

安全性審査の流れ

委員会は、臨床での使用を目的とした各種の幹細胞培養上清が安全性に配慮された規格に準じた製造がなされているかについて審査することを目的としています。



定例勉強会・情報交換会・BASIC セミナーの開催

年3回～4回、会場とリアルタイムオンラインのハイブリッド形式で培養上清に関する症例報告やカンファランスを開催しております。参加申し込みは当会 HP より随時受付中です。 <https://jssccs.org/>



※敬称略

	講演日程		
10 : 00	開場		
	10 : 30 ~ 11 : 00	基調講演 「アカデミアから見た培養上清」 演者：川上 智史	座長： 前田 裕輔
11 : 00	11 : 00 ~ 11 : 30	トークセッション 演者：川上 智史・田中 善・前田 裕輔・前田 陽子	座長： 前田 陽子
	11 : 30 ~ 12 : 20	特別講演 1 「歯髄幹細胞培養上清による新たな臨床戦略」－口腔から全身へ広がる再生医療の可能性－ 演者：吉見 洋志	座長： 田中 善
12 : 00	12 : 20 ~ 12 : 30	質疑応答	
	12 : 30 ~ 12 : 40	休憩 （後方にお弁当を用意致します。各自お取りください。）	
13 : 00	12 : 40 ~ 13 : 30	ランチョンセミナー セルプロジヤパン株式会社	
	13 : 30 ~ 13 : 40	質疑応答	
	13 : 40 ~ 14 : 00	休憩	
14 : 00	14 : 00 ~ 14 : 50	動画投影 演者：Massimiliano Brambilla	座長： 野村 紘史
	14 : 50 ~ 15 : 00	質疑応答	
15 : 00	15 : 00 ~ 15 : 50	特別講演 2 「Klotho 含有 幹細胞培養上清「KLOSOME®」の基礎研究と臨床応用」 演者：野村 紘史	座長： 川上 智史
	15 : 50 ~ 16 : 00	質疑応答	
16 : 00	16 : 00 ~ 16 : 30	休憩	
	16 : 30 ~ 17 : 20	特別講演 3 「当院における培養上清（StemSup®）を試用した経験」 演者：藤木 崇史	座長： 城谷 昌彦
17 : 00	17 : 20 ~ 17 : 30	質疑応答	
	17 : 30 ~ 18 : 20	特別講演 4 「当院におけるセクレトームを用いた ED 治療の現状と展望」 演者：平野 敦之	座長： 前田 裕輔
18 : 00	18 : 20 ~ 18 : 30	質疑応答	
	18 : 30 ~ 18 : 40	閉会挨拶	
19 : 00			
	19 : 00 ~	懇親会	

4

基調講演



川上 智史
群馬医療福祉大学 准教授
健康増進クリニック 院長補佐

特別講演1



吉見 洋志
医療法人隆聖会 理事長
吉見医科歯科クリニック 総院長
北海道大学臨床教授 セブ医科大学 客員教授

特別講演2



野村 紘史
一般社団法人日本臨床培養上清研究会 理事長
一般社団法人克己会 N2クリニック ホテル椿山荘東京院
京都大学大学院医学研究科 健康加齢医学講座
Gerok株式会社

特別講演3



藤木 崇史
N2クリニック 四谷 副院長

特別講演4



平野 敦之
医療法人美健会
ルネスクリニック日本橋
理事長

基調講演・特別講演
講師紹介

2026
7/12Sun.
JSSCCS
the 2nd
1day Basic Seminar

アカデミアから見た培養上清



群馬医療福祉大学 准教授
健康増進クリニック 院長補佐

川上 智史 Satoshi Kawakami

座長：前田 裕輔

近年、再生医療分野において、幹細胞そのものではなく、細胞が分泌する生理活性物質に注目が集まっている。特に培養上清（conditioned medium）は、サイトカイン、成長因子、エクソソーム、microRNA など多様な生体分子を含有し、組織修復、抗炎症作用、神経保護作用などへの応用可能性が期待されている。また、細胞移植と比較して保存・輸送・管理の容易さなどの利点も指摘されており、再生医療の新たなモダリティとして関心が高まっている。

近年では、慢性炎症、酸化ストレス、加齢関連疾患（aging-related diseases）との関連も注目されており、培養上清を介した細胞間コミュニケーション制御が、新たな疾患制御戦略となる可能性も示唆されている。特に、活性酸素種（ROS）や慢性炎症は、老化や組織障害の進展に深く関与することが知られており、これらに対する生体調節作用の解明は重要な研究課題である。さらに、エクソソーム解析、オミクス解析、AI を用いたデータ解析技術の進展により、個別化医療（precision medicine）への応用可能性も期待されている。

一方で、アカデミアの立場からは、なお慎重な検討が必要な領域でもある。培養上清は単一成分ではなく複雑な混合体であり、その構成成分は細胞種、培養条件、継代数、酸素濃度、培地条件などにより大きく変化する可能性がある。さらに、「何が実際に作用しているのか」という有効成分の同定や定量化は十分には確立されておらず、再現性や標準化の問題も重要な課題である。

現在までに、in vitro 研究や動物実験レベルでは多くの有望な報告がみられるが、ヒトを対象とした大規模ランダム化比較試験（RCT）は限定的であり、「効いた」という経験的評価と、「医学的に証明された」という科学的評価は区別して考える必要がある。また、安全性評価においても、感染症、エンドトキシン、免疫反応、腫瘍促進性など、多面的な品質管理および長期的検証が求められる。

本講演では、培養上清研究の現状について、再生医療・細胞間コミュニケーション研究の視点から整理するとともに、今後の発展可能性と課題について概説する。さらに、培養上清研究を「熱狂」ではなく「科学」として発展させるために必要な再現性、標準化、エビデンス構築の重要性について、アカデミアの視点から考察したい。

略歴

2006 年 北里大学大学院医療系研究科博士後期課程修了 博士（医学）
2006 年～2009 年 北里大学医学部公衆衛生学研究室
2010 年～2012 年 東北大学加齢医学研究所講師
2013 年～2016 年 東北大学大学院歯学研究科講師
2017 年～2021 年 東海大学医学部医学科・看護学科 客員准教授・講師
2020 年～ 日野厚生クリニック院長補佐
2022 年～2025 年 桐生大学医療保健学部人体構造機能学准教授
2025 年～2026 年 尚絅学院大学健康栄養学群健康栄養学類准教授
2026 年～ 群馬医療福祉大学社会福祉学部准教授

所属学会等

日本臨床環境医学会 会員（2018 年 4 月～2020 年 3 月まで評議員）
日本統合医療学会 会員（2023 年 4 月～2024 年 3 月まで理事）
日本機能水学会 会員
日本口腔機能水学会 常任理事
日本先制臨床医学会 理事
日本臨床栄養医学会 会員
日本ビタミン学会 会員
日本睡眠学会 会員
日本統合医学健康増進会 理事長
日本ブレインフォグ研究会 理事
日本培養上清研究会 理事
日本衛生学会 会員
日本公衆衛生学会 会員

Panel Discussion

座長：前田 陽子



Satoshi Kawakami

川上 智史

群馬医療福祉大学 准教授
健康増進クリニック 院長補佐

Yoshimu Tanaka

田中 善

田中クリニック
院長



Yusuke Maeda

前田 裕輔

グランプロクリニック銀座
院長

Yoko Maeda

前田 陽子

ごきげんクリニック浜田山
院長



概要

幹細胞培養上清（セクレトーム）を用いた治療は、国内の臨床現場において、慢性疾患、難病、美容、さらには Longevity（長寿）分野における新たなパラダイムとして急速に普及しつつある。多様なサイトカインやエクソソームを含む培養上清は、組織修復や抗炎症作用、免疫調整などにおいて多くの可能性を示しており、医療業界は今、期待のフェーズを超え、具体的な臨床応用を前提とした「次のステージ」へと明確に移行している。

これに伴い、臨床現場からは日々多様な治療成果が報告される一方で、実用化が進んだからこそ見えてきた新たな課題も浮き彫りとなっている。臨床成果の再現性の担保、ロット間差の克服、安全性と有効性を裏付ける科学的アプローチの確立などは、業界全体で取り組むべき喫緊の課題であり、臨床医とアカデミアの連携が不可欠である。

本トークセッションでは、各分野の臨床医を交え、幹細胞培養上清治療の発展の歴史を振り返りながら、国内におけるこれまでの臨床成果を多角的に評価する。現場の成功事例の共有にとどまらず、臨床医視点のリアルな課題について率直な議論を交わし、さらなる医学的発展と安全な普及に向けた展望を探る。

「歯髄幹細胞培養上清による新たな臨床戦略」

-口腔から全身へ広がる再生医療の可能性-



医療法人隆聖会 理事長
吉見医科歯科クリニック 総院長
北海道大学臨床教授 セブ医科大学 客員教授

吉見 洋志

Hiroshi Yoshimi

座長： 田中 善

近年、幹細胞培養上清を用いた再生医療は、細胞移植を伴わない新たな治療戦略として注目されている。なかでも歯髄幹細胞は、神経堤由来であることから神経・血管・免疫系との親和性が高く、これ由来の上清は豊富な成長因子やエクソソームを含有することが報告されている。

当院では院内 CPC（細胞加工施設）を設置し、天然歯髄幹細胞由来培養上清を製造している。現在まで、慢性疼痛、アレルギー性疾患、神経障害、疲労症候群などに対し、従来の方法はもとより、歯科独自の投与を行い、多数の改善例を得てきた。特に顎顔面領域の慢性疼痛（口腔顔面痛）症例では、VAS の著明な改善を短期間で認める例が多く、一部症例では 1 回の投与で VAS ゼロになるケースも経験している。また、全身倦怠感、睡眠障害、肩痛、腰痛、花粉症など、慢性炎症との関連が示唆される症状に対しても良好な結果を得ている。

近年、老化細胞由来 SASP（senescence-associated secretory phenotype）による慢性炎症が、疼痛や神経変性、全身疾患の背景病態として注目されている。歯髄幹細胞培養上清に含まれるエクソソームや miRNA、各種増殖因子は、炎症制御や組織修復に関与している可能性が考えられる。

本講演では、上清の作り手としての視点から製品吟味の方法を、また臨床家としては歯髄幹細胞培養上清の基礎的背景を概説するとともに、実際の臨床症例を提示しながら、口腔から全身へ広がる新たな再生医療の可能性について考察する。また、すでに始まっている医科歯科連携を基盤とした活動や今後の展望についてもお話する。

略歴

北海道大学 客員臨床教授
セブ医科大学 客員教授
鶴見大学 非常勤講師

所属学会等

日本口腔内科学会	日本口腔外科学会
日本歯科放射線学会	先制臨床医学会
日本口腔顔面痛学会	抗加齢医学会
日本慢性疼痛学会	日本臨床培養上清研究会
日本歯周病学会	歯髄幹細胞上清臨床研究会
日本臨床歯周病学会	点滴療法研究会

【メモ欄】

Klotho含有 幹細胞培養上清「KLOSOME®」の 基礎研究と臨床応用



一般社団法人 日本臨床培養上清研究会 理事長
一般社団法人 克己会 N2クリニック ホテル 椿山荘 東京院
京都大学大学院医学研究科 健康加齢医学講座
Gerok株式会社

野村 紘史 *Hiroshi Nomura*

座長：川上 智史

近年、再生医療領域において、幹細胞そのものではなく、幹細胞が分泌するサイトカイン、エクソソームなどを含む培養上清の生理活性に注目が集まっている。これらは細胞間情報伝達を担う生体シグナルとして作用し、組織修復や恒常性維持に関与することが報告されている。

Klotho は 1997 年に鍋島 陽一教授（現 京都大学名誉教授）らにより発見された老化抑制関連分子であり、酸化ストレス抑制、細胞老化制御、線維化抑制、代謝恒常性維持など、多面的な生理機能を有することが知られている。Klotho 遺伝子欠損マウスでは多彩な老化様表現型が認められ、逆に過剰発現では寿命延長が報告されていることから、“longevity protein”として老化研究分野で重要な位置を占めている。

今回我々はヒト尿由来幹細胞（UDSC,Urine-derived Stem Cell）培養上清中に含まれる Klotho 関連シグナルに着目し、Klotho 含有幹細胞培養上清製剤「KLOSOME®」（EHL BIO 社）の解析および皮膚局所投与の臨床検証をおこなった。KLOSOME® は、UDSC 由来培養上清から抽出・精製されたエクソソーム分画を主体とし、細胞間シグナル伝達機構を利用した“Anti-aging Messenger”として位置づけられる美容施術用製剤であり、日本臨床培養上清研究会の安全性審査を通過している。KLOSOME® の前臨床評価では、線維芽細胞およびケラチノサイトに対する増殖促進、創傷治癒促進、皮膚コンディション改善に関連する変化が確認された。また、既存の脂肪由来幹細胞培養上清と比較して、皮膚再生関連サイトカインプロファイルに特徴的な変化を認めた。

臨床検証では、倫理審査委員会承認のもとマイクロニードリングを併用した塗布をおこない、施術前後の皮膚分析機による解析を施行した。その結果、小ジワ、ハリ、色素斑、くすみ、ニキビ、毛穴などの改善効果を認め、全例において重大な有害事象は認めなかった。

本講演では、Klotho 研究の背景、UDSC 培養上清の特徴、KLOsome® 開発コンセプト、ならびに基礎研究および臨床応用経験について報告する。

略歷

東京大学医学部卒業後、東京大学形成外科に入学し、乳房再建および脂肪組織由来幹細胞を用いた再生医療研究に従事。生体材料・細胞シグナルに関連した再生医療研究のため、2013 年に米国ボストンへ留学。帰国後は再生医療の臨床応用と培養上清研究を推進し、2017～2020 年には国立大学発ベンチャーの代表を務める。現在は N2 クリニック ホテル椿山荘東京院にて「再生医療の個別最適化」をテーマに診療を行う傍ら、京都大学健康加齢医学講座研究員および Gerok 株式会社役員として、Klotho 関連研究および幹細胞培養上清の基礎・臨床研究に従事している。

所属学会 等

日本形成外科学会 専門医
日本創傷外科学会 専門医
日本抗加齢医学会 認定医
日本先制臨床医学会 認定医
日本肥満症治療学会 評議員
日本/バイオインフォマティクス学会 認定技術者
日本ライボライフ協会認定 LipoLife 認定医
日本ライボライフ協会認定 LipoLife 指導医
ALMA SURGICAL 社認定 LipoLife 国際上級指導医 / APAC KOL

【メモ欄】

当院における培養上清(StemSup®)を試用した経験



N2クリニック四谷 副院長

藤木 崇史 Takafumi Fujiki

座長：城谷 昌彦

近年、再生医療の中心として間葉系間質細胞（MSC：mesenchymal stromal cell）の研究が世界中で行われており、それによりこれまでの治療では改善が困難であった様々な疾患に対する治療への応用が期待されるようになってきています。さらに研究が進み MSC の作用機序が分かってくると、MSC が分泌するサイトカインや成長因子、エクソソームなどのセクレトームによる「液性効果」が注目されるようになり、2024 年にマサチューセッツ大学のビクター・アンブロス教授とハーバード大学のゲイリー・ラブカン教授がマイクロ RNA（miRNA）の研究でノーベル生理学・医学賞を受賞したことでその注目度は一層高まっています。その中でも mRNA や miRNA を含有するエクソソームは、様々な領域で治療への応用が期待されています。

我々は、こうした流れより前から MSC の液性効果に注目し、MSC の培養上清（StemSup®）を臨床で試してきました。MSC は由来する組織によって培養して得られるセクレトームの特徴に違いがあるため、当院では脂肪組織由来、乳歯歯髄由来、臍帯由来、胎盤由来、羊膜由来の 5 種類の StemSup® がラインナップされており、それらを患者の症状や状態によって使い分けています。

今回は、これらの経験を私の専門分野である整形外科領域を中心に症例とともに提示いたします。

略歴

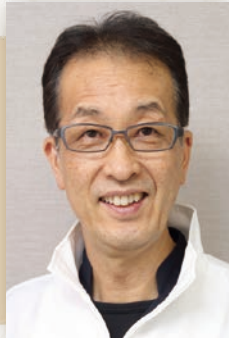
日本整形外科学会認定専門医
日本スポーツ協会公認スポーツドクター

所属学会等

日本整形外科学会
日本再生医療学会

【メモ欄】

当院におけるセクレトームを用いたED治療の 現状と展望



医療法人美健会
ルネスクリニック日本橋 理事長

平野 敦之 Atsuyuki Hirano

座長：前田 裕輔

【背景·目的】

医療法人美健会ルネスクリニック日本橋では、間葉系間質細胞培養上清液（セクレトーム）を用いた治療を多様な疾患や病態、美容領域へ応用している。本発表では、演者の専門領域である勃起不全(ED)に対するセクレトーム治療の臨床経験を中心に報告し、その有用性と今後の可能性を検討する。

【方法】

当院では2017年より、ED症例を対象として脂肪由来間質細胞セクレトームの陰茎海綿体内注射を開始した。治療効果の評価には、国際勃起機能スコア（SHIM）および勃起硬度測定（EHS）を用いた。さらに、歯髄由来、高濃度エクソソーム含有骨髓由来、およびiPS細胞由来の各セクレトームを用いた治療についても追加施行し、その効果を比較検討した。

【結果】

脂肪由来セクレトーム治療を施行した 28 例（平均年齢 61.8 歳）において、SHIM スコアおよび EHS のいずれも統計学的に有意な改善を認めた。また、歯髄、骨髄、iPS 細胞由来のセクレトーム治療においても、それぞれ良好な経過と治療反応性が示唆された。

【考察・結論】

セクレトームによる ED 治療は、従来の薬物療法が無効な症例に対しても有効な選択肢となり得る。本発表では、各セクレトームの特徴を踏まえた ED 治療における位置づけ、具体的な治療手技、現状の課題について論じる。併せて、当院における他疾患への応用事例を提示し、セクレトーム治療の最新動向と将来展望について考察する。

略歷

1982 年と歌山県立医科大学卒業後、泌尿器科を専攻、1997 年米国ピッツバーグ大学・メディカルセンターへ留学し、移植免疫の研究に従事、2000 年と歌山県立医科大学泌尿器科学助教授、その後、葉山ハートセンター、高輪メディカルクリニックなどを経て、2015 年東京駅八重洲口にルネスクリニック東京（現：東京駅前ピアエートルクリニック）を開院、2020 年に東京メトロ銀座線三越前にルネスクリニック日本橋を開院し、男性・女性更年期、副腎疲労などを中心に、一般的な治療に加えて、抗加齢医療や再生医療も取り入れた診療を行っている。

所属学会等

- 日本泌尿器科学会（専門医）
- 日本抗加齢医学会（専門医・評議員）
- 日本再生医療学会
- 日本性機能学会
- 日本 Men's Health 医学会
- 日本女性医学学会など

【メモ欄】

幹細胞研究から見る 上清液の働きと安全性の追求

| 時間 | 12:40 – 13:30

幹細胞由来成分の働きと上清液に求められる安全性、
医療や化粧品原料において今後どのように応用
できるのか、アカデミアでの研究歴17年の
現役幹細胞研究者が専門的視点から解説。

セルプロジャパン株式会社
代表取締役社長

佐俣 文平 BUMPEI SAMATA

略歴

- 2012年 京都大学大学院医学研究科 医科学専攻(修士課程)修了
- 2014年 日本学術振興会特別研究員
- 2017年 京都大学大学院医学研究科 医科学専攻(博士課程)修了
- 2019年 京都大学IPS細胞研究所 非常勤研究員(現任)
- 2019年 セルプロジャパン株式会社設立 代表取締役(現任)
- 2023年 株式会社Waqoo 代表取締役就任(現任)

主な実績

- 2017年 日本再生医療学会奨励賞(臨床応用研究部門)受賞
- 2021年 日本再生医療学会臨床培養士 認定
- 2023年 日本再生医療学会上級培養士 認定
- 2023年 日本再生医療学会(代議員)

PROFILE

MedicaCell[®] TYPE-I

独自製法によりフリーズドライ化時の成分劣化を大幅に抑えることに成功しました。
CPJ2凍結ヒト臍帯上清液に比べ、成長因子の含有率が大幅にアップしております。

保管方法
**冷蔵保管
対応**

有効成分
**200倍
以上**

加工安定性
**最大60倍
アップ**

新培養技術
実装
特許番号:
特許第7468955号

製品名 MedicaCell TYPE-I

規格 研究用試薬

主成分 ヒト臍帯幹細胞上清液

入数 6バイアル

使用期限 12か月(冷蔵)

製造元 セルプロジャパン株式会社

原料採取部位 ヒト臍帯

容量 1mL×6バイアル

CPJシリーズ

厳格な検査基準をクリアした、健康な日本人ドナーの幹細胞から製造しております。

ヒト脂肪幹細胞由来
培養上清液(CPJ1)
製造番号○○○
容量 1mL
製造日○○○

ヒト脂肪幹細胞由来
培養上清液(CPJ1)
製造番号○○○
容量 1mL
製造日○○○

ヒト脂肪幹細胞由来
培養上清液(CPJ1)
製造番号○○○
容量 1mL
製造日○○○

CPJ1

原料採取部位 ヒト脂肪

容量 1mL

ヒト臍帯幹細胞由来
培養上清液(CPJ2)
製造番号○○○
容量 1mL
製造日○○○

ヒト臍帯幹細胞由来
培養上清液(CPJ2)
製造番号○○○
容量 1mL
製造日○○○

ヒト臍帯幹細胞由来
培養上清液(CPJ2)
製造番号○○○
容量 1mL
製造日○○○

CPJ2

原料採取部位 ヒト臍帯

容量 1mL

ヒト羊膜幹細胞由来
培養上清液(CPJ3)
製造番号○○○
容量 1mL
製造日○○○

ヒト羊膜幹細胞由来
培養上清液(CPJ3)
製造番号○○○
容量 1mL
製造日○○○

ヒト羊膜幹細胞由来
培養上清液(CPJ3)
製造番号○○○
容量 1mL
製造日○○○

CPJ3

原料採取部位 ヒト羊膜

容量 1mL



アカデミアで最先端の幹細胞研究に携わる現役の研究者
が設立したバイオベンチャー企業。幹細胞研究の知見を
活かし再生医療の普及・発展に貢献するべく、製品・原料の
研究開発を行っています。

セルプロジャパン株式会社
神奈川県藤沢市村岡東2-26-1
湘南ヘルスイノベーションパーク内
TEL:0466-27-4134



cellprojapan.com

Certified Product

Japanese Society of Stem Cell Culture Supernatant for Clinical Medicine

ヒト幹細胞由来培養上清液（臍帯組織由来幹細胞）

会社名	セルプロジャパン株式会社	審査日	2023 年 1 月 31 日
住 所	神奈川県藤沢市村岡東 2-26-1	本製品の総合評価	A
電話番号	0466-27-4134	企業ホームページURL	https://cellprojapan.com/
容器形状／内容量	クライオチューブ / 1ml	担当メールアドレス	info@cellprojapan.com
由来する細胞の種類	ヒト臍帯組織由来幹細胞	連絡先電話番号	0466-27-4134

STEMS

会社名	株式会社同仁がん免疫研究所	審査日	2023 年 1 月 31 日
住 所	熊本県熊本市南区流通団地 1-44-2	本製品の総合評価	A
電話番号	096-234-8351	企業ホームページURL	https://dici.co.jp/about/
容器形状／内容量	クライオバイアル / 1mL	製品ページURL	https://stems.cc/
由来する細胞の種類	ヒト歯髄由来幹細胞		

PIA エクソソーム含有ヒト脂肪由来幹細胞培養上清液

会社名	PIA 株式会社	審査日	2023 年 5 月 20 日
住 所	東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー	本製品の総合評価	A
電話番号	03-6417-0220	企業ホームページURL	https://www.pia-corp.co.jp
容器形状／内容量	凍結乾燥	製品ページURL	https://www.exosomefd.pia-corp.co.jp
由来する細胞の種類	脂肪	担当メールアドレス	info-exo@pia-corp.co.jp

隆聖会ラボ歯髄幹細胞培養上清

会社名	医療法人社団隆聖会	審査日	2023 年 6 月 19 日
住 所	埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-13-12 MiRi スクエア 4 階 浦和吉見歯科クリニック内隆聖会ラボ	本製品の総合評価	A
電話番号	048-834-4443	企業ホームページURL	https://www.443labo.jp/
容器形状／内容量	クライオバイアル / 2ml	担当メールアドレス	info@4443.jp
由来する細胞の種類	ヒト歯髄由来幹細胞	連絡先電話番号	048-834-4443 (浦和吉見歯科クリニック内隆聖会ラボ)

ヒト幹細胞培養上清 FD

会社名	株式会社三和製薬	審査日	2024 年 1 月 31 日
住 所	東京都中央区八丁堀 4-12-20-6F	本製品の総合評価	A
電話番号	03-6228-3516	企業ホームページURL	https://www.sanwa-life.com/
容器形状／内容量	凍結乾燥	製品ページURL	https://www.sanwa-life.com/original_material/research_reagents/
由来する細胞の種類	脂肪	担当メールアドレス	info@sanwa-life.com

ヒト臍帯WJ由来幹細胞培養上清エクソソーム含有試薬

会社名	株式会社医道メディカル	審査日	2025 年 9 月 29 日
住 所	東京都品川区東品川 2-3-12 シーフォートスクエア / センタービルディング 7F	本製品の総合評価	A
電話番号	03-6260-0071	企業ホームページURL	https://idou-medical.jp/
容器形状／内容量	クライオチューブ 1ml / 1 バイアル 1 cc	担当メールアドレス	nihei@idou-medical.jp
由来する細胞の種類	臍帯 W J 由来幹細胞		

KLOSOME

会社名	EHL BIO Co., Ltd.	審査日	2025 年 7 月 5 日
住 所	B 207 Indeogwon IT Valley, 40 Imi-ro, Uiwang-si, Gyeonggi-do, Seoul, Republic of Korea	本製品の総合評価	A
電話番号	+82-10-9293-4630	担当メールアドレス	Kjmin2@ehlbio.com
容器形状／内容量	Ampoule / 1Kit(Vial 1: 20mg / Vial 2: 5ml)	連絡先電話番号	+82-10-9293-4630
由来する細胞の種類	Kidney derived		

一般社団法人 日本臨床培養上清研究会 会員募集

培養上清とは…？

幹細胞を培養するときに、500種類以上のタンパク質を含む分泌液の中にはサイトカインやエクソソームと呼ばれる細胞活性のカギとなる情報伝達物質が豊富に含まれています。その幹細胞の上清液を使うことにより、体内の損傷を受けた組織や細胞の機能回復の治療に有効です。

どのような疾患に使えるのか？

老化などにより衰えた細胞の回復、美容に対するさまざまな効果が期待される治療法です。脳梗塞後遺症、パーキンソン病、認知症などの神経変性疾患、糖尿病などの代謝疾患、関節リウマチやアレルギー疾患などの免疫疾患、更年期障害、神経精神疾患などいろいろな疾患に効果が期待できます。高濃度ビタミンC点滴療法などとともに、クリニックの点滴療法の一つに加えることができます。

再生医療関係の法律上の規制はありませんか？

現在のところ法律上の規制はなく届け出も必要ありません。培養上清を提供する企業から購入すればすぐに使用可能です。当研究会では安全性審査委員会があり培養上清液の安全性を担保する認定していますので、安心・安全な企業からの購入ができ患者様に提供できます。

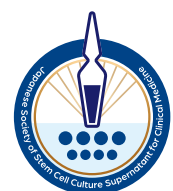
当会では、定例勉強会・情報交換会をセミナー形式にて開催しております。ご入会頂いた会員様には特典として、**勉強会の参加費割引等の特典**を用意しております。勉強会参加前にぜひご確認ください。
※定例勉強会・情報交換会開催日・申込は当会 HP よりご確認ください。

培養上清って何？

どの製品が安心？

法律は大丈夫？

こんなギモンに
答えていきます！



JSSCCS
日本臨床培養上清研究会

一般社団法人
日本臨床培養上清研究会
Japanese Society of Stem Cell Culture Supernatant for Clinical Medicine

当会の詳細は、WEBをご覧ください >>>

日本臨床培養上清研究会

検索

● 理事長：野村紘史 ● 理事：田中善、前田裕輔、前田陽子、川上智史 ● 監事：水上治

<https://jssccs.org/>

日本先制臨床医学会 第9回 | JSPCM TOKYO | 2026 学術大会

桐村 里紗
Lisa Kirimura

一般社団法人プラネタリー
ヘルスインシアティブ代表理事
天籟株式会社 代表取締役 医師

今野 裕之
Hiroyuki Konno

医療法人社団TLC医療会
ブレインケアクリニック
名誉院長

野村 紘史
Hiroshi Nomura

N2クリニック
ホテル椿山荘東京
院長

大会長
小林 正学
Masanori Kobayashi

岡崎ゆうあいクリニック
院長

朝戸 統覚
Noriaki Asato

Legal Agent 株式会社
Legal Agent 法律事務所
CEO・代表弁護士

奥 真也
Shinya Oku

医療未来学者・医師

岡崎 直観
Naoki Okazaki

国立大学法人 東京科学大学
情報理工学系・情報工学系
教授・博士

町 淳二
Junji Machi

ハワイ大学医学部外科・国際医療医学オフィス
M.D., Ph.D., F.A.C.S.

日時

2026 **11/14(土)・15(日)**

会場

TODA HALL & CONFERENCE TOKYO ホールB

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目7番1号 TODA BUILDING 4階

TEL:03-3528-6310 アクセス：JR東京駅八重洲中央口から徒歩7分、銀座線京橋駅から徒歩3分。



名誉
大会長

福澤 嘉孝
学校法人 愛知医科大学
理事・名誉教授

西谷 雅史
響きのクリニック
理事長・院長

萬 憲彰
医療法人医新会
よろずクリニック 理事長・院長

新垣 実
新美会新垣形成外科 理事長
日本臨床カンナビノイド学会 理事

田中 善
医療法人仁善会 理事長
田中クリニック 院長

船戸 崇史
医療法人社団 崇仁会 船戸クリニック 院長
がん予防増進型リトリートリボン洞戸 代表

川上 智史
群馬医療福祉大学 准教授
健康増進クリニック 院長補佐

The 9th Annual Meeting of Japan Society of Preemptive and Clinical Medicine



JSPCM
日本先制臨床医学会

一般社団法人 **日本先制臨床医学会**
Japan Society of Preemptive and Clinical Medicine

お問い合わせ：03-6240-0179 (平日 10:00 ~ 17:00)



<https://jspcm.org>

研究会が発足して10年…
医師が語る
腸内フローラ移植の未来

☑自閉スペクトラム症の論文公開

☑がんの予防・治療・再発防止

☑水素NanoGAS®水の医療用途

☑研究会の10年間の実績

その他、様々な症状の緩和・改善について発表します。

日時

2026.9.27(日)

開場 9時 開会 10時

閉会 17時【予定】

懇親會
開始 17時30分

学术大会 参加者限定

場所

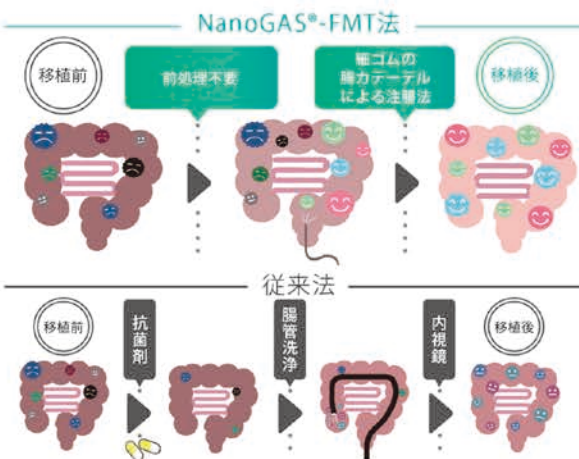
リーガロイヤルホテル大阪

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5-3-68
TEL:06-6448-1121

＼ 腸内フローラ移植(便移植)とは /

腸内フローラ移植(便移植)は、健常ドナー由来の腸内細菌叢を患者の腸管内に移植することで、腸内環境の再構築を図る治療法です。「水素ナノバブル水を用いるNanoGAS®-FMT法」は、内視鏡や抗菌薬、腸管洗浄剤などを使用せずに、短時間で直腸投与することによって、腸内フローラ移植をより安全、かつ効果的に完結できる革新的な方法です。※FMT(学術名称:Fecal Microbiota Transplantation/糞便微生物叢移植)

特定臨床研究の結果が国際学術誌『Frontiers in Pediatrics』に掲載
2026年3月、ASD児対象の次世代FMT(NanoGAS®-FMT)法の有効性と安全性に関する特定臨床研究の結果が『Frontiers in Pediatrics』に掲載されました。統計学的に有意に約30%改善し、その効果が2年後においてもほぼ持続することを明らかにしました。



大会長／

田中 善

医療法人仁善会
田中クリニック 理事長・院長

詳しい内容とお申込みは
こちらから▶▶▶▶▶▶



第48回 日本アーユルヴェーダ学会
東京研究総会 & 1day セミナー

Ayurveda Society in Japan
The 48th General Conference in TOKYO

社会に息づく
アーユルヴェーダへ

～ 暮らしの中から広がる共生の智慧～

日程 2026 10/31(土)・11/1(日)

会場 大崎ブライトコアホール

10/11(日)
ひびきの丘にて
イベント開催

大会長
西谷 雅史

響きの杜クリニック 院長

主 催

一般社団法人
日本アーユルヴェーダ学会

企画運営

日本アールヴェーダ学会
東京研究総会実行委員会

